

### けいじばん

活動協定書等；「ちば千年の森をつくる会」は豊英島の土地所有者である千葉県との間で、11月19日「千年の森づくり活動協定書」（別添1）を締結しました。期間は11月20日から20年3月末までの5年間。「千年の森づくり整備計画」（別添2）に活動内容を明示。この協定に従い5ヶ年間の「年度別活動計画書」（様式1）を提出しました。

次回活動の案内；平成16年2月8日（日曜日）を活動日として追加します。

主な活動内容は①今年度伐採コナラ林の玉切り・整理、伐採残木伐採②ヒラタケ植菌（イヌシデ・アカシデ伐採、枝打ち、玉切り、運搬、植菌）③椅子・テーブル作成④16年度活動計画打合せ等。状況により③は3月に延期する。

森林館駐車場AM 9:45 集合。携帯品；チェーンソー（あれば）、鋸、鉋、ヘルメット、防寒・雨具、雪の場合すべり止めの靴、弁当・水筒、お椀。案内状は出しません。

メールの方は事務担当に出欠連絡下さい。マイカー同乗車は運転者に必ず出欠連絡下さい。

なお当初計画3月7日（土）の活動は3月中旬のウイークデーに変更します。変更日は2月10日迄に決めお知らせします。（きのこ植菌を予定しているこの活動には森林研究センターの支援が必要なため、休日の対応が難しく平日の活動となることをご了承下さい）

アンケート調査；新年度活動計画を考えるにあたり、会員の多様な要望と多才な技能を森の整備をはじめとする多様な活動に展開する準備が必要なこと、また会員個々のより参加しやすい日程についても把握しておく必要があるため、アンケート調査を行います。

添付アンケート用紙に記入・入力の上、16年1月10日までに返送・返信下さい。

### かつどうのきろく

11月29日（土曜日）雨 千葉南部に大雨・洪水・強風注意報、最悪の天候下活動を強行。

参加会員13名、県みどり推進課安積主幹、森林研究センター小平室長外県関係者多数。

コナラ林伐採；今年度伐採区域 $20 \times 20 = 400 \text{m}^2$ 、森林組合伐採班が早朝出動してコナラ19本伐採（皆伐）の後、会員はコナラ以外の伐採樹約20本伐採、エンコウカエデ、エゴノキ等の保存木及び来春ヒラタケ植菌原木に使用予定のイヌシデ2、カシデ3残す。なお伐採予定樹木のうちチェーンソー必要な太い経のモミなど3本を次回作業に持ち越し。雨足が強まり予定していたコナラ林稚樹確認標示、景観管理林要保護植物マーキングなどの作業を断念した。

なお当日組合伐採班による巨木林の間伐が行われ、その見学と巨木林管理につき小平室長解説拝聴。



### 特用林産物の調理と試食

県関係調理班により特用林産物調理、エゾシカの燻製に加えて海の幸まで大量に調理されその試食に満腹。大テントの屋根に溜まる大量の雨水を排水しながら味わうエゾシカはスモーク良く効き美味でした。

今後の活動について打合せ；出席者は坂本、真鍋、塚本、長村、中島、新井（孝）新井（克）小川、小又、高橋、増本、松本（ミ）、会員12名、県みどり推進課安積主幹の特別出席のもと、国民宿舎「清和」会議室において、「千年の森づくり活動協定書」「千年の森づくり整備計画」管理目標図「年度別活動計画書」に従い、2時間半にわたり熱心に討議。討議の要点は次の通り。

- ・県の活動助成について；県は「技術的な協力及び助言」のみでなく「助成」がどうしても必要という要望意見が多く出された。これに対し安積主幹より、この種の協定ごとに助成を明示することは出来ないが、一定の要件を満たせば「里山保全整備活用事業補助交付要綱」の適用により機械・道具類購入などの一部補助が可能との話あり、今後「会」としても機械道具類の購入のし方を工夫することとした。（その後「要綱」について精査の結果補助率その他運用面で制約が多いこと判明）
- ・コナラ等木材の利用；陸の孤島の豊英島が人の生活や農業から孤立しているためコナラ等の木材も落ち葉も活用されず里山的な循環がない、出口がないという現状を打開出来ないか。搬出して薪として活用できないか、チップにして観察路に蒔けないか（機械の価格問題等あり実行困難）、炭焼きをトライ出来ないか（要県当局の許可）昔の炭焼き釜の跡地は調査しておくべきではないか。看板椅子など島内での活用は積極的に実施すべき。木工、看板造りなどの得意なメンバーを募っては。なお豊英の間伐材を利用して県民の森の窯で行われる研究センターの炭焼き試験には、今後連携の可能性もあるので出来るだけ関与したい。
- ・活動計画；定例の活動のほかに看板造りとか木工、特定の試験・調査などのためプロジェクト方式の特定メンバーによる集中作業の計画も必要。また来年以降きのこが始めると定例活動日2ヶ月間もきのこを放置出来ない。一定のルールのもとに開放日が必要になる。
- ・安全対策；会員以外のビジターに対する安全対策が必要ではないか。（ビジター対策は17年度の一般公開までに受け入れ体制整備の一環として必要な安全対策を講ずる）当面立入り禁止区域は研究センターに掲示をお願いする。
- ・植物調査など；貴重種などの図鑑を整備する必要がある。2・3年間写真を蓄積してある程度絵を揃えるようにしたい。写真班ももう少し増やす必要がある。
- ・次回活動；今回積み残しの作業、伐採コナラの球切り、ヒラタケ植菌などのため2月に活動日を追加し、日程協議の結果2月8日日曜日に決定。

懇親会；於国民宿舎「清和」、前記会員のほか県関係者；小平室長、安積主幹、松本、手嶋、総谷

各氏ご出席頂き本会初の懇親会、3分間スピーチでは各自本音の応酬も飛び交い、小人数ながら大盛会。この間長村地名選考委員長司会のもと豊英島島内8拠点の地名（愛称）を大激論の末右図のように満場一致決定。

11月30日（日曜日）雨朝食時の雨足に負け活動を断念。

